

# 熱田湊・有松で SDGsまちづくりがスタート

加藤 秀弥

令和元年七月に名古屋市がSDGs未来都市に選定されたことを受け、名古屋環境大学に設置したSDGs未来都市創造クラブを通して、令和二年度及び令和三年度に、中区錦二丁目モデルエリアとしたSDGsまちづくりの取り組みが実践された。今年度は、この取り組みを他地域に展開するべく、「SDGsまちづくり推進事業」として新たに「熱田湊」と「有松」の二地域が採択された。当事業では、ワークショップ等を通じて地域課題解決に向けたアクションを検討し、その実践を目指す。当社もワークショップの企画運営やアクションの支援等を行っている。

テーマに沿ったアクションの企画・運営が進められる。今からどんなアクションになるか楽しみだ。



左:有松まち歩き(早恒染色の工房見学) 中上:熱田 WS 風景 右:熱田湊まち歩き(堀川の見学)  
中下:有松 WS 風景

# 名駅南・祢宜公園で 利活用社会実験がスタート

櫻井 高志

名駅南地区内にある約三百㎡の小さな公園「祢宜公園」で、十一月末から利活用社会実験が始まった。五十㎡ほどに人工芝を敷いた緑の空間が登場した。主催は名駅南地区まちづくり協議会、北祢宜町内会、六反学区連絡協議会の3つの地域組織がタッグを組んだ。利用のほぼ一〇〇%が喫煙という「灰皿公園」から、芝生による喫煙対策と憩いなど公園本来の利用を取り戻すことが狙いである。

設置後まだ間もないため、はっきりした効果はこれからだが、何度か通った印象では、芝の上では喫煙もポイ捨てもあまりなく、逆にお弁当を食べる姿を見かけたりしたので、一定の効果はあると感じている。今後調査をして定量的に効果を検証していく。

さて、今回の人工芝の設置作業だが、協議会メンバーなど二十名ほどの素人が手作業で行った。作業は単純で口儿状の人工芝を専用両面テープで舗装面に接着するだけ。しかし、繋ぎ目をきちんと揃えたり、既存のスツールやマンホール部分をぴたりくり抜いたり、難しい箇所もあったが、何とかクリアし、最終的には最初から芝生広場だったのか?と思えるような



人工芝設置後の公園。ビル街に緑空間が登場  
上:ロール状の人工芝 下:設置作業風景

素晴らしい出来映えに仕上がった。今後は芝空間の拡張やイベントの実施なども予定しており、公園がどのように変わっていくのか楽しみである。ぜひ立ち寄っていただきたい。